

高温時におけるプレー基準について

近年、夏季気候は極めて厳しいものがあり、野外活動については熱中症の予防等、各方面より注意喚起がなされております。当クラブにおいても、お客様と従業員の健康管理、安全確保の観点から下記の通りお客様へのプレー制限を設けることとさせていただきます。

なお、プレーヤーの皆様の安全対策にも努めてまいります。ご自身における熱中症対策にもご配慮いただきますようご理解とご協力よろしくお願ひ申し上げます。

(記)






1. 制限の基準

環境省が発表する暑さ指数 (WBGT) 31 以上に予測された場合

マスター室前に注意喚起のサインを設置します 31 以上黄色表示、33 以上赤色表示

参照:日本スポーツ協会『熱中症予防ガイドブック』より

運動に関する熱中症予防指針

WBGT (°C)	湿球温度 (°C)	乾球温度 (°C)	熱中症予防運動指針	
31 以上	27 以上	35 以上	運動は原則中止	特別の場合以外運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。 
28~31	24~27	31~35	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10~20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。 
25~28	21~24	28~31	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分補給する。激しい運動では、30分おきに休憩をとる。 
21~25	18~21	24~28	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。 
21 未満	18 未満	24 未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。 

2. プレー制限

ゴルフ場の判断でプレーを一時中断または中止することがあります。

スループレーは制限させていただきます (ただし早朝プレーは除く)

追加ラウンド及びハーフプレーは制限させていただきます。

3. 対象期間

7月~9月16日 (原則として)

期間外でも『暑さ指数』によって制限を設ける場合があります